

SCカフェ presents

生活支援体制整備事業スーパービジョン

生活支援体制整備事業の活性化を目指しませんか？

2025年度新規参加自治体募集!!

生活支援体制整備事業の成果は上がっていますか？
2024年度、国際長寿センターが生活支援体制整備事業のスーパービジョン体制のあるべき姿を取りまとめることを目的に12自治体を実施した活動支援事業について、2025度の参加自治体を募集します。

支援内容 生活支援体制整備事業における事業成果や第1層SCの役割を確立し、第2層SCの活動支援をはじめとする事業全体の活性化を目指す取組みを行います。

- ① 地域資源の創出と管理を支援します。**(資源マップアプリの構築)**
初年度はアプリ構築のみでランニングコストは不要です。
2年目以降は自治体規模によってコストは異なりますが、アプリ構築後に自治体管理(ランニングコスト不要)とすることも可能です。
- ② ニーズと資源のマッチング活動を支援します。
支援者派遣費用等の負担が必要です。
- ③ 必要に応じて協議体および自立支援型地域ケア会議の運用等を支援します。

月1回12か月間、リモートによる支援を基本に、地域の実情にあわせて実施します。
支援リーダー：中村一朗（国際長寿センター・ディレクター / SCカフェ主宰）

(一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
国際長寿センター (ILC-Japan)

お問い合わせメールアドレス ilcjapan@ihep.jp



社会資源マップアプリ



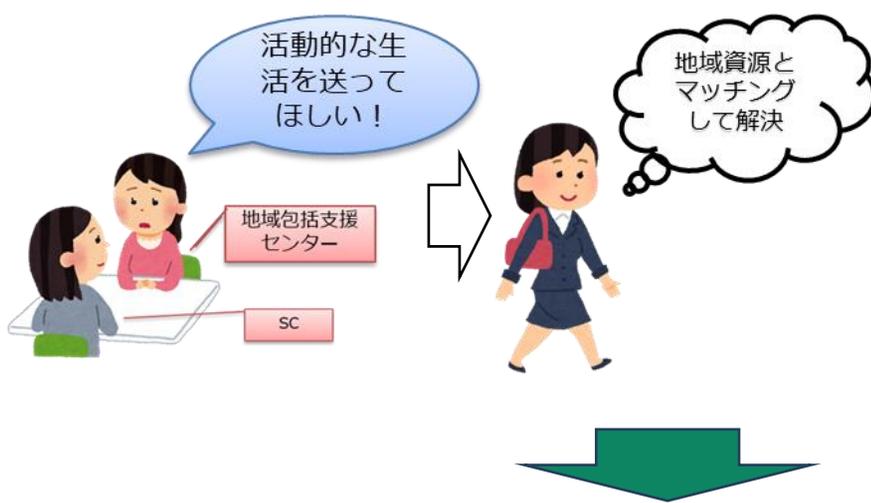
多様な社会資源をマップで管理するアプリを構築します。

WEB上で管理するシンプルな機能を持つアプリです。
マップ作成支援だけでなく、SNS連携を用いたアプリの有効な活用方法についても支援します。

インターネットで公開することで、専門職だけでなく住民が活用することも可能です。
地域の多職種がアプリにより多様な資源を活用するよう支援します。

初期構築後に管理費用が発生しますが、マップ構築完了をもって管理権を無償譲渡します。

ニーズと資源のマッチング活動支援



地域の専門職が把握する高齢者の自立支援に資する困りごとの提供を受け、SCがその課題の解決に当たる活動の実施を支援します。

(効果)

- ★ マッチングスキル向上
- ★ 専門職と連携するきっかけ
- ★ 地域の多様な主体にSCの存在や地域課題を周知
- ★ 成功体験により人間関係（ネットワーク）が構築

必要に応じて地域ケア会議・協議体運営支援を実施します。

高齢者向けサービス

フォーマルサービス
介護予防教室
有償ボランティア
高齢者向けジム

その他の地域資源

子育て支援活動
趣味活動
散歩コース
道具の活用、友人との活動、地域の役割

可視化できるものは
アプリで管理し
他職種と共有

アプリに載っていない
資源の活用は
個別にSCが対応

地域のあらゆる資源を活用して、高齢者の生活全般を支援できる体制を構築します。